



10月の安全就業重点事項

周囲の安全確認と 相互のコミュニケーション強化



<具体的推進事項>

- ① 不安全要因を事前に把握し、除去
- ② 「一人KY（危険予知）活動」の実践
- ③ 的確な意思疎通で良好なコミュニケーション

① 不安全要因の除去

例えば屋外での作業の場合、足元に斜面や段差、溝、ぬかるみ、切り株、石などがいないか、その他作業の妨げとなったり、危険なものは取り除いておきましょう。



② 一人KYの実施

「1人KY」とは、作業を始める前に、これから始めようとする作業の危険点（注意点）についての頭の中で“予知”してみることです。

- 「1人KY」を実施することで、
- ・思考、行動の切り替えができる（頭の切り替えができる）
 - ・作業開始前に危険を発見でき、危険回避の手が打てる機会が増す
- という効果が期待できます。

◆事故の発生状況◆ 令和2年度

	令和2年 9月発生分	年度 累計	前年度 同月累計
傷害事故	1	2	2
賠償責任事故	1	2	2
計	2	4	4

一人KYのやり方

1. 10～20秒程度、自分のこれからやろうとする作業の危険を考える
2. 危険と考えられる点をしぼりこむ
3. 危険回避の行動目標を決め、指差呼称する

③ 的確な意思疎通で良好なコミュニケーション

シルバー就業は、就業する皆が互いに協力してはじめて成し遂げられるものです。そのためには、会員一人ひとりが互いに認め合い、良好な人間関係を築くことが必要です。



そのためには、次の各項目に留意しましょう。

1. 十人十色というように、一人ひとり皆違うことを認める。
2. 個人の特性を批判したり評価したりせず、一人の人間として敬意を払い、公平に接する。
3. 意見や考え方の対立がある場合は、どこに対立点があるかを明らかにした上で協調できる解決を見つけるよう努力する。
4. より良い人間関係をつくるために「傾聴」に努める。
5. 以心伝心に頼らず、必要なことは必ず言葉で表す。

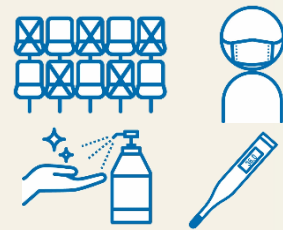
裏面もご覧ください

令和2年度「安全推進大会」のご案内

	令和3年	日時	場所
第1回	3月11日(木)	13:30	長浜文化芸術会館
第2回	3月18日(木))	木之本スティックホール
第3回	3月21日(日)		15:30

今年度の安全推進大会は、国・自治体のガイドラインに準拠し、**感染予防に十分配慮して開催します。**

- ①来場者数を会場の収容定員の半分に抑え、間隔を開けてご着席いただきます。
このため、参加は「**事前予約制**」とします。(要領は後日お送りするチラシをご覧ください)
- ②会場受付には手指消毒アルコール、体温計を常備します。
- ③参加の際にはマスクをご着用ください。



(主な内容)

安全就業講演

演題「人生100年時代 あなたの健康はココロから」
浅井東診療所 副所長・医師 大西 規史 氏

交通安全講演

演題「安全な運転行動とは」
一般社団法人日本自動車連盟 (JAF) 滋賀支部
業務課長 生田 真 氏

◆ 9月の発生事故 9月はヘッジトリマーの使用による事故が2件発生しました。

傷害事故	9月9日 10:40頃	71歳 男性	足場台上でエンジン式 ヘッジトリマー を使用して アベリアの刈り込み作業 をしていた。奥まで刈ろうと前傾姿勢になったところ、足元がぐらつきそのまま 後ろ向きに倒れた 。その際 トリマーの刃が左手の平が接触し、小指を除く4指を切創した 。 ⇒柔らかい地面に足場台を設置する時は、下に 敷板 (コンパネ等) を敷きましょう。トリマー使用時は 防振手袋 を着用しましょう。
賠償責任事故	9月21日 14:10頃	73歳 男性	工場敷地内で 金木犀 をヘッジトリマーで 刈り込み作業 をしていた。金木犀の中に 工場の内線電話のケーブルがあること に 気づかず、トリマーでケーブルを切断した 。 ⇒作業前に一歩引いて作業場所全体を見渡せば、ケーブルが架設されていることに気づいたはずです。

「気を抜くな 慣れと危険は 紙一重」(令和元～2年滋賀県連合会 安全推進標語 最優秀作品)